



第38回全国豊かな海づくり大会 ～高知家大会～



基本計画書(案)

第38回全国豊かな海づくり大会高知県実行委員会

平成29年3月27日現在

目 次

I 全体概要

1 大会の概要	1
2 開催の意義	2
3 基本理念	3
4 基本方針	4

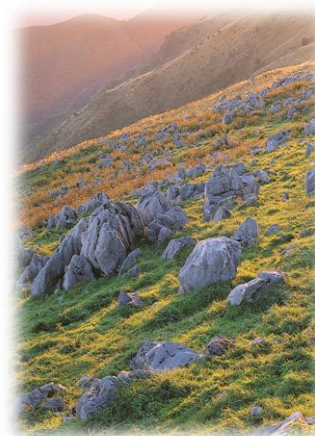
II 大会計画

1 全体計画	
(1) 計画概要	5
(2) 会場配置	6
(3) 行事計画	7
2 式典行事	
(1) 会場配置	8
(2) 行事計画	9
3 海上歓迎・放流行事	
(1) 会場配置	11
(2) 行事計画	12
4 関連行事	
(1) 会場配置	14
(2) 行事計画	14
5 映像中継計画	15
6 その他の行事	
(1) 絵画・習字優秀作品御覧	16
(2) 歓迎レセプション	17
7 大会運営計画	18
8 荒天時計画	19

III 機運醸成・広報計画

1 機運醸成に向けた取組み	20
2 広報事業	22

IV 実施スケジュール



©(公財)高知県観光コンベンション協会

全国豊かな海づくり大会は、これまで天皇皇后両陛下の御臨席のもとに開催されていることから、「第38回全国豊かな海づくり大会 ～高知家大会～」においても、天皇皇后両陛下の御臨席を想定し、基本計画を作成しています。

I 全体概要

1 大会の概要

- 大会名称 第38回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～
- 主 催 豊かな海づくり大会推進委員会※
第38回全国豊かな海づくり大会 高知県実行委員会
- 開催時期 平成30年秋季
- 開催場所 「式典行事」 高知市 高知市文化プラザかるぼーと
「海上歓迎・放流行事」 土佐市 宇佐しおかぜ公園
「関連行事」 (高知市内で検討中)
- 行事内容 (予定)
 - (1) 式典行事
資源管理や漁場保全などに功績のあった団体の表彰、最優秀作文の発表、漁業後継者の決意表明や大会決議などを行います。
 - (2) 海上歓迎・放流行事
稚魚の放流や漁船などによる海上パレードなどを行います。
 - (3) 歓迎行事・関連行事等
大会関係者を招待して歓迎レセプションを行い、本県の農林水産物の食材等を豊富に使ったおもてなしを行います。
また、本県の水産業や環境保全等の取り組みの紹介、農林水産物や加工品の販売などを行い、県内外の参加者に本県の魅力をアピールします。
- 大会テーマ 『森・川・海 かがやく未来へ 水の旅』
- 大会キャラクター 高知県イメージキャラクター「くろしおくん」



※豊かな海づくり大会推進委員会…大会運営のために中央に設置されている委員会。最高顧問は衆議院議長、会長は全国漁業協同組合連合会代表理事会長が務めている。

I 全体概要

2 開催の意義

(1) 高知県の自然環境

高知県は四国南部に位置し、北に四国山地、南に太平洋を臨む東西に長い扇状をしており、海岸線の総延長は713km、県東部が比較的単調な海岸線であるのに対し、西部は屈曲が多く、とくに豊後水道に面する海岸は典型的なリアス式海岸となっています。

県土の84%が森林であり、湿潤な森から流れ出す水は、やがて集まって一つの流れとなり、豊穡の川として太平洋へと続いています。最後の清流と言われる四万十川、近年“仁淀ブルー”で名をはせた仁淀川が全国的に知られています。

海岸部に至る複雑で多様な地形・地質構造と温暖多雨の気候は、全国有数の森、川、海の県として高知県の自然環境の基盤を形成し、高知県では、それら自然環境特性を活かした農林水産業が発展してきました。



四万十川



仁淀川（中津溪谷）



物部川源流域（べふ峡）

(2) 高知県の水産業

高知県の沖合を東流する黒潮は、沿岸海域で複雑な分枝流を形成し、水産生物の生息、来遊、漁場の形成等に大きな影響を及ぼしています。

本県の漁業は、伝統の遠洋・近海かつお・まぐろ漁業をはじめ、釣・はえ縄、定置網、中型まき網、魚類養殖などの沿岸・沖合漁業や、あゆ漁などの内水面漁業から構成され、多種多様な漁業が営まれています。さらに、本県を代表する“かつお一本釣り”漁業は、一度に大量の魚を取る網漁業と異なり、水産資源にやさしい漁法となっています。

しかしながら、高齢化などによる漁業就業者の減少や魚価の低迷、水産資源の減少、燃油価格の上昇など、水産業を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。

高知県では平成21年度から、官民協働による地産外商を戦略の柱とする産業振興計画の推進を図り、漁業生産量の確保をはじめ、水産物の販売力の強化などに取り組んでいます。近年は、養殖業へ種苗を安定的に供給し、生産量の拡大を図るため、クロマグロやカンパチの人工種苗生産の事業化に向けた取り組みも新たに進めています。



高知の魚・カツオ



クロマグロの人工種苗の中間育成漁場



アユ

I 全体概要

2 開催の意義

(3) 大会開催の意義

こうした中、「全国豊かな海づくり大会」を高知県で開催できることは、県民一人ひとりが豊かな海を育む環境保全の大切さを理解するとともに、長年培われてきた本県漁業の魅力や新たな挑戦について、全国に向けて発信することができる絶好の機会になります。

併せて、高知県の魅力である豊かな自然、食、歴史、文化等についても県内外に発信・PRしていきます。



©(公財)高知県観光コンベンション協会

土佐二十四万石の歴史・高知城



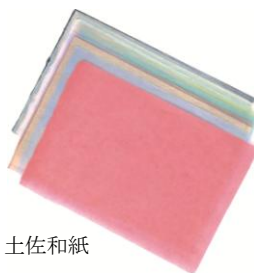
高知城歴史博物館



桂浜



鯉のタタキ



土佐和紙

3 基本理念

自然豊かな本県の魅力やそこで育まれた水産資源を全国に発信し、水産業の振興と地域活性化を図るとともに、森と川からつながる豊かな海づくりに向けた取り組みを推進します。



高知県の豊かな

森



©(公財)高知県観光コンベンション協会

川



海

I 全体概要

4 基本方針

(1) 水産業と地域の活性化

漁業者と家族が将来にわたって漁村で生活していける「若者が住んで稼げる元気な漁村」を目指した取り組みを進めるとともに、高知県の水産業と地域の活性化につながる大会とします。



放流活動



アオリイカ産卵場の設置



水産加工品の例

(2) 豊かな自然環境の保全

豊かな自然環境を未来へと引き継ぐため、「森・川・海」のつながりを意識した環境保全活動を継続的に展開するとともに、守り育てる気持ちを次世代に伝える大会とします。



森づくり活動



環境学習



海岸清掃活動

(3) 高知の魅力の発信

高知県の豊かな自然や食、歴史、伝統・文化など、高知の魅力を広く発信する大会とし、地域の活性化につなげていきます。



棚田の風景



高知の主要農産物の例（左からグロリオサ、柚子、ピーマン）



お遍路さんと五重塔
(四国八十八箇所霊場第31番札所竹林寺)

(4) おもてなし大会の開催

県外からの多くの参加者の皆さまに対して、高知家の家族が「おもてなしの心」でお迎えし、高知にまた来たいと思われるような大会とします。

また、東日本大震災や熊本地震からの復興に向けて、全国の方々とともに支援の気持ちを表明する大会とします。



よさこい祭り（高知市）



土佐のおもてなし「皿鉢料理」

※高知家とは、

高知県振興キャンペーンの名称。一度出会えば家族のように親しい高知県民のあたたかさを通じて、観光客誘致や県内への移住促進など、振興策を進めている。

Ⅱ 大会計画

1 全体計画

(1) 計画概要

■ 基本的な考え方

本県の特徴ある水産業の魅力と豊かな海づくりにつながる水産資源や自然環境を守り育てることの大切さを全国に発信する大会とします。

また、本県の豊かな自然、食、歴史や文化などを満喫できる多彩な催しを展開し、高知ならではの心のこもったおもてなしで、県内外からの来場者をお迎えします。

■ 行事構成

● 式典行事

豊かな海づくりのために功績があった団体などの表彰、最優秀作文の発表、漁業後継者の決意表明や大会決議などを行います。

● 海上歓迎・放流行事

漁業関係者らの協力を得て、漁船等による海上歓迎行事を行うとともに、海への感謝の心を養い、次世代へ豊かな海を継承するため、それぞれが願いを込めて稚魚等の放流を行います。

● 関連行事

県内外からの参加者に、本県の特徴ある水産業をはじめ、豊かな海づくりにつながる環境保全に向けた取り組みを広く紹介します。

多くの観光客の皆さまに認めていただいている豊かな「食」や自然、歴史、伝統文化など本県の魅力を満喫していただきます。



山形県（平成 28 年）での実施状況

Ⅱ 大会計画

1 全体計画

(2) 会場配置

■ 基本的な考え方

会場となる施設、敷地の形状、設備、景観を最大限に活かし、すべての来場者に安全・安心で快適な空間を計画します。

● 式典行事会場【高知市文化プラザかるぽーと「大ホール」(高知市)】

既存施設の設備・空間を活かし、高知らしい演出で式典行事を行います。

● 海上歓迎・放流行事会場【宇佐しおかぜ公園(土佐市)】

浦ノ内湾の入り口に位置し、広大な太平洋を臨み、緑あふれる山々に囲まれています。このロケーションを活かし、宇佐しおかぜ公園内岸壁と水面を利用して海上歓迎行事と放流行事を行います。

● 関連行事会場(高知市内で検討中)

企画展示やステージイベント、ふれあい体験、物産販売エリアなどで構成し、高知の魅力を発信する会場づくりを行います。

■ 会場配置図



Ⅱ 大会計画

1 全体計画

(3) 行事計画

■ 基本的な考え方

- 各行事のタイムスケジュールに従い、招待者及び来場者の移動がスムーズに行えるよう、安全面、機能面を十分に考慮した大会計画とします。
- 式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場及び関連行事会場において、一体感のある演出を行うため、大型映像装置を活用した映像中継等を行います。

■ 行事構成

会場		式典行事会場 高知市文化プラザ かるぽーと 「大ホール」	海上歓迎・ 放流行事会場 宇佐しおかぜ公園	関連行事会場 (高知市内で 検討中)	歓迎レセプション 会場 (高知市内)
第一日目	9:00	総合リハーサル	総合リハーサル	関連行事 ・企画展示 ・ステージイベント ・ふれあい体験 ・物産販売	絵画・習字優秀 作品御覧 歓迎レセプション
	17:00				
第二日目	9:00	開場 プロローグ		式典行事中継 関連行事 ・企画展示 ・ステージイベント ・ふれあい体験 ・物産販売 海上歓迎・ 放流行事中継	
	12:00	式典行事			
	15:00		式典行事放映 (録画)		
	17:00		海上歓迎・ 放流行事		

※詳細な時間設定は、実施計画で作成します。

Ⅱ 大会計画

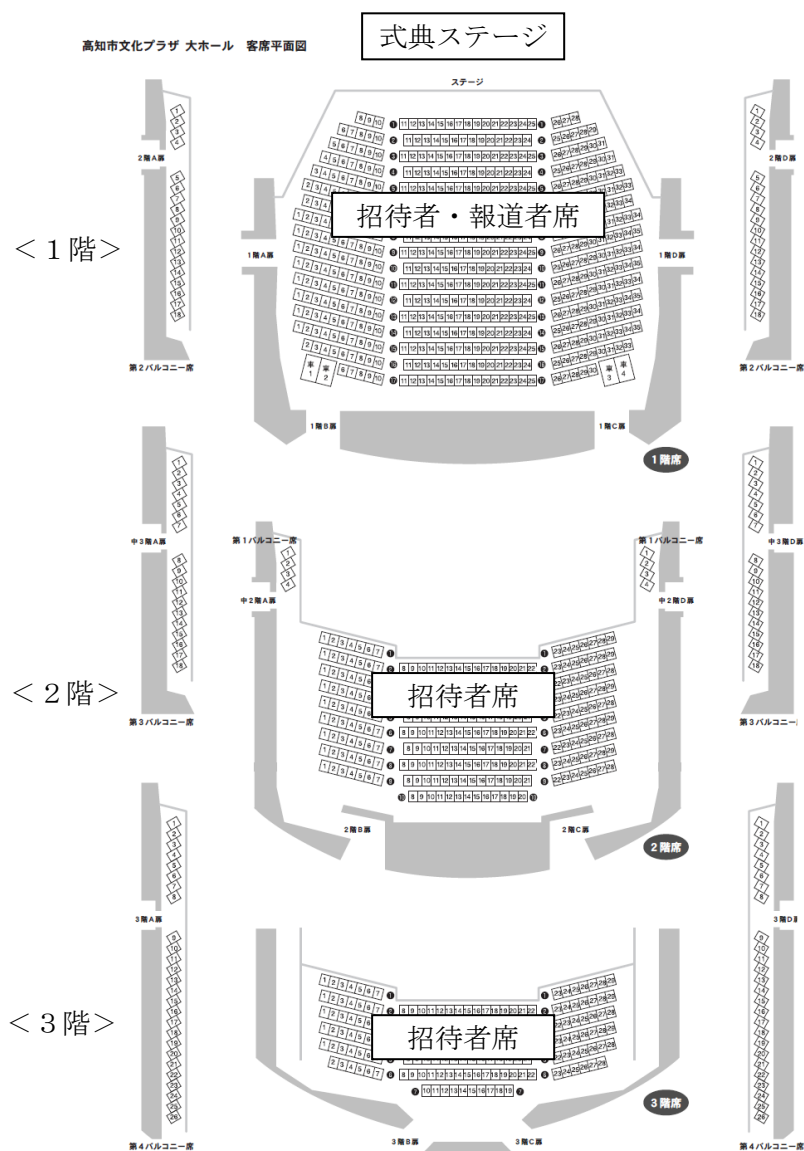
2 式典行事

(1) 会場配置

■ 基本的な考え方

会場は、高知市文化プラザかるぽーと「大ホール」とし、華美にならないシンプルな構成とします。

《会場構成・イメージ図》



高知市文化プラザかるぽーと外観



山形県（平成 28 年）での実施状況

※具体的なエリア分けは、実施計画で作成します。

Ⅱ 大会計画

2 式典行事

(2) 行事計画

■ 基本的な考え方

厳粛で品位のある進行を基本に、豊かな海の重要性を、高知から全国に発信する内容とします。

大会前から行ってきた水産振興や環境保全活動を取り上げ、大会を通じて大切な海を守るためにできることを誓う場とします。

■ 日時 平成30年秋季の日曜日（午前）

■ 場所 高知市文化プラザかるぽーと「大ホール」



大会旗入場



功績団体などの表彰



稚魚などのお手渡し



次期開催県への大会旗引継

山形県（平成28年）での実施状況

Ⅱ 大会計画

2 式典行事

■ 演出計画

進 行	内 容・出 演 者 等
プロローグ	高知県紹介映像、伝統芸能 等
御臨席	御先導：高知県知事
大会旗入場	旗手：高等学校生徒 等 先導：鼓笛隊 等
開会のことば	高知県漁業協同組合連合会代表理事長
国歌斉唱	吹奏楽 等
主催者あいさつ	全国豊かな海づくり大会会長（衆議院議長） 高知県実行委員会会長（高知県知事）
歓迎のことば	高知市長
表彰（功績団体等）	全国豊かな海づくり大会会長賞 農林水産大臣賞 環境大臣賞 水産庁長官賞 高知県知事賞
最優秀作文の発表	全国豊かな海づくり大会会長賞の受賞者代表
稚魚等のお手渡し	お受取：水産関係者 介添え：高等学校生徒 等
海づくりメッセージ	県内の子供たちと漁業関係者等によるメッセージ
大会決議	豊かな海づくり大会推進委員会会長（全国漁業協同組合連合会代表理事長）
大会旗引継	高知県知事から秋田県知事（次期開催県知事）へ引継
次期開催県あいさつ	秋田県知事
閉会のことば	高知県議会議長
御退席	御先導：高知県知事

Ⅱ 大会計画

3 海上歓迎・放流行事

(1) 会場配置

■ 基本的な考え方

浦ノ内湾の入り口に位置し、広大な太平洋を臨み、緑豊かな山々に囲まれているロケーションを活かし、宇佐しおかぜ公園内岸壁と水面を利用して海上歓迎行事と放流行事を行います。

御放流所は御放流の様子が大会招待者及び報道関係者から見やすいよう設置します。



※詳細な配置計画は実施計画で作成します。

■ 御放流所

御放流所は、周辺の景観を損なわないように配慮しつつ、万一の風雨の影響を最低限に抑えるよう、十分な屋根の大きさを確保します。御放流所の材料は環境に配慮するとともに、可能な限り県産材を用いることとします。



山形県（平成 28 年）での実施状況

Ⅱ 大会計画

3 海上歓迎・放流行事

(2) 行事計画

■ 基本的な考え方

高知県の代表的な漁法紹介（漁船による海上パレード）等で招待者を歓迎します。
また、海への感謝の心を養い、次の世代へ豊かな海を継承するため、それぞれが願いをこめて稚魚の放流を行います。

■ 日 時 平成30年秋季の日曜日（午後）

■ 場 所 宇佐しおかぜ公園

■ 演出計画

進 行	内 容 ・ 出 演 者
歓迎演奏	吹奏楽 等
進行概要説明	司会者
会場御着～御放流所へ御移動	御先導：高知県知事
海上歓迎	漁船等による漁法紹介（海上パレード）
第1回放流	介添え者：高知海洋高等学校生徒 等
第2回放流	介添え者：高知海洋高等学校生徒 等
御放流所から御移動～会場御発	御先導：高知県知事
終了	



山形県（平成28年）での実施状況

Ⅱ 大会計画

3 海上歓迎・放流行事

■ 御放流魚種

イサキ - 夏を代表する魚の一つで釣漁業や定置網漁業の重要な対象種となっている。 - 刺身、焼き物などにして美味で、市場の評価が高い。 - 県内各地で資源増殖に向けた稚魚の放流が続けられている。	
イシダイ - 食味の良い、高級魚で、定置網漁業、刺網漁業等で漁獲されている。 - 本県の地先に広く生息し、磯釣りの対象魚として高い人気がある。	

■ お手渡し魚種等

カジメ類 - 沿岸の岩礁域に着生する海藻。 - カジメ類などの海藻が形成する群落（藻場）は、さまざまな生き物の住处や餌場、産卵場として重要。 - 近年、藻場が衰退する「磯焼け現象」が進んでいるため、県内各地の漁業者などが藻場の再生に向けた取り組みを行っている。	
アサリ - 土佐市宇佐地区の漁業の重要種であり、潮干狩りの対象として県民にもなじみの深い二枚貝。 - 近年、魚類の食害などによる減少が著しいため、資源の回復に向けた官民あがての取り組みが行われている。	
ウナギ - 近年、天然ウナギは全国的に減少傾向にあり、資源の回復に向けた気運が高まっている。 - 本県においても、各河川での種苗の放流や、禁漁期間の設定などにより資源の保護に努めている。	
アマゴ - 本県の河川の上流部に生息し、その姿の美しさから「溪流の女王」と称される。 - 食味も良く、溪流釣りの対象として非常に人気があり、県内の多くの河川で稚魚の放流活動が続けられている。	

Ⅱ 大会計画

4 関連行事

(1) 会場配置

■ 基本的な考え方

本県水産業の特色や、森・川・海の環境保全に関する活動、おいしい魚や食文化など、高知県の魅力である豊かな自然、食、歴史、文化等についても県内外に発信することを目的として関連行事を開催します。

※開催地については、高知市内で検討中です。

(2) 行事計画

■ 企画展示エリア

本県水産業の特色や漁法の紹介、放流魚種をはじめとしたミニ水族館、及び、環境保全に向けた取り組みなどを多くの方々に知っていただけるような企画展示を行い、豊かな海を守り育て、将来に引き継いでいくことの大切さを広く発信する構成とします。

■ ステージイベントエリア

式典行事や海上歓迎・放流行事の映像中継により各行事との一体感を醸成するとともに、特色ある伝統芸能や著名人によるトークショー、マグロの解体ショーなどのアトラクションを展開し、多くの方々に楽しんでもらえるような構成とします。

■ ふれあい体験エリア

タッチングプールなど海の生き物と触れ合えるコーナー、漂着物アートや土佐和紙を使ったアートの展示や制作などの体験を通して、海の環境保全の大切さを楽しんで学べるような構成とします。

■ 物産販売エリア

高知の水産物や県内各地の特産品等を広くアピールし、かつおのたたき体験などを通じて高知の食文化を楽しんでいただけるような構成とします。



山形県（平成 28 年）での実施状況

Ⅱ 大会計画

5 映像中継計画

■ 基本的な考え方

式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場及び関連行事会場において、一体感のある演出を行うため、大型映像装置を活用した映像中継を行います。

● 式典行事会場【高知市文化プラザかるぽーと「大ホール」】

大型映像装置を会場に設置して、プロローグの演出や式典遂行に必要な映像の放映を行います。また、多くの参加者に式典の模様を見ていただけるように、海上歓迎・放流行事会場には録画映像を放映し、関連行事会場には映像を中継します。

● 海上歓迎・放流行事会場【宇佐しおかぜ公園】

大型映像装置を会場に設置して、式典行事の録画映像の放映を行います。また、多くの参加者に海上歓迎・放流行事の模様を見ていただけるように、関連行事会場に映像を中継します。

● 関連行事会場（高知市内で検討中）

関連行事会場の多くの来場者に大会の模様を見ていただけるように、式典行事及び海上歓迎・放流行事の模様を放映します。

■ 中継システム概略図



Ⅱ 大会計画

6 その他の行事

(1) 絵画・習字優秀作品御覧

■ 内 容

全国豊かな海づくり大会を記念して、県内の児童・生徒を対象に絵画・習字コンクールを実施し、優秀作品を御覧いただきます。

■ 次 第

進 行	内 容 ・ 出 演 者 等
御着	
絵画・習字優秀作品御覧	御説明 : 高知県教育長 受賞者 : 高知県知事賞（絵画部門・習字部門）
御発	



山形県（平成 28 年）での実施状況

Ⅱ 大会計画

6 その他の行事

(2) 歓迎レセプション

■ 内 容

大会前夜に、歓迎レセプションを行い、高知の海で獲れた魚介類をはじめとする、本県の農林水産物を豊富に使った食でおもてなしをします。

■ 次 第

進 行	内 容 ・ 出 演 者 等
御着	御先導：高知県知事
開宴のあいさつ	高知県副知事
主催者あいさつ	高知県知事
乾杯	全国豊かな海づくり大会会長（衆議院議長）
御歓談	
御退席	御先導：高知県知事
御歓談	
終宴のあいさつ	高知県議会議長



山形県（平成 28 年）での実施状況

Ⅱ 大会計画

7 大会運営計画

■ 基本的な考え方

すべての来場者の安全を確保するとともに、心のこもったサービスを提供します。
大会を円滑に推進するため、事前に関係機関、関係団体との綿密な情報交換・調整を行います。

■ 計画概要

● 運営体制

おもてなしの精神ときめ細やかな心配りで、来場者の心に残る大会運営に努めます。
障がい者・高齢者への配慮とともに、環境への負荷を軽減し、「人と環境にやさしい」運営に努めます。

● 緊急時対応

警察、海上保安庁、消防、医療機関等の関係機関、関係団体との連携を密にし、事故防止や非常時の迅速な対応に努めます。

海の近くで行われる、海上歓迎・放流行事においては、地震による津波への対応として、情報収集と避難誘導を迅速・的確に行える体制づくりを行います。

● 県民参加

県民との協働を目指し、会場周辺の美化などへの積極的なボランティア参加を呼びかけます。

Ⅱ 大会計画

8 荒天時計画

■ 基本的な考え方

- (1) 荒天により海上歓迎行事の実施が困難であると判断した場合には、荒天時計画（A）に変更し、行事を実施します。
- (2) また、海上歓迎・放流行事の全ての実施が困難であると判断した場合には、荒天時計画（B）に変更し、行事を実施します。
- (3) さらに、暴風雨などの荒天時や、地震等による災害が発生した場合には、全ての行事を中止します。

■ 実施内容

(1) 荒天時計画（A）

行 事 名	内 容
式典行事	計画どおり実施
海上歓迎行事	中止
放流行事	計画どおり実施

(2) 荒天時計画（B）

行 事 名	内 容
式典行事	計画どおり実施
海上歓迎行事	中止
放流行事	中止

- 荒天が予想される場合、大会内容の変更及び大会中止の決定を速やかに行うため、判定会議を開催します。
- 判定会議における判断基準をあらかじめ定めます。

Ⅲ 機運醸成・広報計画

1 機運醸成に向けた取り組み

■ 基本的な考え方

1年前プレイベントをはじめとする行事開催を通して、大会開催に向けた全県的な機運醸成を図るとともに、県内外からの招待客をお迎えする地域の一体感と盛り上がりを創出します。また、子どもから大人まで幅広い県民に、森・川・海のつながりや環境保全の大切さを理解してもらうための取り組みを進め、大会に向けては機運醸成を図る取り組みと位置付けるとともに、大会開催後も県内全域で継続して取り組まれるよう定着を図っていきます。

■ 機運醸成に向けた取り組み

◆ 1年前プレイベント

『記念セレモニー(記念放流・漁船パレードなど)』

期日：平成29年秋季(大会期日の約1年前) 会場：土佐市(宇佐しおかぜ公園)

内容：本大会に向けた機運醸成を図り、県内外からの招待客や地元の方々の参加のもと、本大会を見据えた放流・海上パレードを実施



福岡県の1年前プレイベントの実施状況(平成28年)

『「土佐の豊穰祭2017高知市会場 土佐國美味集結」・「豊かな海づくりフェスタ(仮称)」』

期日：平成29年秋季(大会期日の約1年前) 会場：高知市(中央公園)

内容：本大会に向けた機運醸成を図るため、高知県の食の魅力を感じていただけるイベントと連携し、開催



◆ 豊かな海づくりキャラバン

期日：通年(大会開催まで) 会場：県内全域

内容：海や魚にちなんだイベントや集客力の高いイベントと連携を図り、機運醸成を図ることを目的としたキャラバンを、県内全域で継続的に展開するとともに、大会当年度はカウントダウンイベントとしても展開

例：土佐のおさかなまつり(高知市)、宇佐港まつり(土佐市)など



Ⅲ 機運醸成・広報計画

1 機運醸成に向けた取り組み

◆ 水産資源の保護と教育

『大会記念リレー放流』

期日：通年 会場：県内全域

内容：本県の海面及び内水面の各漁協、または、市町村管内において園児等による放流を実施



『魚食・食育普及活動』

期日：通年 会場：県内全域

内容：子ども達に魚を「見る・触れる・食べる」機会を提供し、魚を身近に感じ興味をもってもらい、河川等の環境教育や家庭での魚食普及を図ることを目的に開催



◆ 海づくり大会協賛行事の募集(平成 29 年度～)

県内自治体、企業、団体、県民グループ等が行うさまざまな「森・川・海」の環境保全活動などを大会協賛行事(関連PRイベント)として募集し、大会のPRや活動紹介などで連携します。



民間企業による稚魚の放流活動

Ⅲ 機運醸成・広報計画

2 広報事業

■ 基本的な考え方

大会テーマ、大会キャラクターを活用しながら、大会関連情報について各種媒体を通じて積極的かつ効果的な広報を実施していきます。

■ 広報事業

(1) 「第37回全国豊かな海づくり大会～福岡大会～」への参加

福岡県で開催される「第37回全国豊かな海づくり大会」（平成29年10月28日、29日）に参加し、次期開催の周知とともに、豊かな水産物をはじめ本県の魅力をPRします。

(2) 大会テーマ、キャラクター等による広報

全国公募により大会テーマを制定し、その普及を図るとともに、高知県のイメージキャラクター「くろしおくん」を活用したPR活動を展開します。

- ・ 大会テーマ、大会キャラクターを活用した大会PRグッズの作成・配布
- ・ 大会キャラクターを活用した各種イベント等でのPR など

(3) 印刷物による広報

各種印刷物や既存の広報誌等を活用した広報活動を展開します。

- ・ 大会公式ポスター、リーフレットの作成・配布
- ・ 県、市町村等の広報誌の活用 など

(4) 多様なメディアによる広報

報道機関への情報提供やインターネット等の多様なメディアの活用により、大会に関する情報を迅速かつ広域的に発信します。

- ・ 県の広報番組（テレビ、ラジオ）等の活用
- ・ 大会ホームページでの情報発信 など

(5) コンクール実施による広報

豊かな海づくり大会推進委員会との共催により、作文・絵画・習字のコンクールを行い、大会の開催趣旨を広く啓発します。

(6) 屋外広告物等による広報

懸垂幕や横断幕・カウントダウンボード等の設置により、大会の開催について広く周知します。

(7) 大会記念誌等の制作

開催までの取り組みや大会当日の様態を記録し、大会記念誌及び記念映像を制作します。

Ⅳ 実施スケジュール

実施スケジュール(予定)

年度	月	大会開催計画		機運醸成・広報計画					
28年度	2月								
	3月	実行委員会	基本計画決定						
29年度	4月			実施計画の検討	大会記念リレー放流・魚食・食育普及活動の実施	県内企業・団体等による海づくり大会協賛行事の募集・実施	豊かな海づくりキャラバン・カウントダウンイベント	ホームページ・ポスター等によるPR	
	5月								
	6月								
	7月								
	8月								
	9月	実行委員会							
	10月	福岡大会参加・大会旗引継							福岡大会でのPR
	11月	開催期日決定(予定)							1年前プレイベント
	12月								
	1月								
	2月								
	3月	実行委員会	実施計画決定						
30年度	4月	大会実施本部の設置	運営マニュアルの作成等		大会記念作品募集開始 (作文・絵画・習字)				
	5月								
	6月								
	7月								
	8月								
	9月			1ヶ月前総合リハーサル					
	10月			前日総合リハーサル					
	11月			第38回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～					
	12月								
	1月								
	2月								
	3月	実行委員会		大会記念誌・DVD作成					

ホームページ・ポスター等によるPR